



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
 コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部長 (氏名) 稲谷 和樹

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,895	5.9	48		47		6	73.0
2022年3月期第1四半期	4,623	5.7	130	49.9	45	83.0	24	86.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 19百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 15百万円 (90.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.86	
2022年3月期第1四半期	3.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	12,974	4,350	33.5	563.06
2022年3月期	12,793	4,524	35.4	585.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,350百万円 2022年3月期 4,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		20.00	20.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,442	16.5	685	289.0	664	261.5	422	373.5	54.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	7,850,000 株	2022年3月期	7,850,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	122,736 株	2022年3月期	122,736 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	7,727,264 株	2022年3月期1Q	7,728,264 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う活動制限が徐々に緩和され、経済活動正常化に向けた持ち直しの動きが見られたものの、新たな変異株の発生による感染再拡大リスク、中国におけるロックダウンの影響、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源エネルギー価格の上昇に伴う原材料価格の高騰、金融引き締めを通じた世界的な景気減速懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。また為替相場が急激に変動したことによる輸入仕入価格の上昇、原油価格は供給不足から高止まりするなど、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下で、当社グループは、昨年子会社化した株式会社ファインケメティックスとのシナジー最大化に注力し、化粧品OEMを含めた付加価値商品の開発力、国内仕入調達力を活かした事業戦略を進め、高収益を達成するためメーカーとしての基盤作りに焦点を絞り、企業価値を高め、成長を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,895百万円(前年同期比5.9%増)となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰や為替の急激な変動による売上原価率の上昇により、営業損失は48百万円(前年同期は130百万円の営業利益)、経常損失は47百万円(前年同期は45百万円の経常利益)、税効果会計を適用したことで親会社株主に帰属する四半期純利益は6百万円(前年同期比73.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分基準の見直しを行っております。それに伴い、以下の前年同期比較については、変更後の費用配分方法に基づいた数値で比較しております。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をする事業であります。経済活動の正常化に向けた動きとして企業によるプロモーション活動や各種イベントは回復しつつあるものの、販促品キャンペーンを軸とする販売は横ばいで推移いたしました。化粧品等のOEMにつきましては行動制限の緩和による大口の案件の受注があり、売上については前述のとおり当連結会計年度には株式会社ファインケメティックスを子会社化したことに伴う売上や利益があったのに対し、前年同期には無かったこともあり大幅に増加いたしました。しかしながら発送代行については環境の変化による通数の減少により売上は減少いたしました。

その結果、売上高は2,525百万円(前年同期比22.5%増)、セグメント利益は48百万円(前年同期比265.4%増)となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供する事業であります。100円ショップ向けは高額商品の投入や機能性の高いポリ製品を中心とした消耗品は安定的に出荷できたものの、ヘアオイルなどの雑貨品が減少、また上海ロックダウンの影響で生産に遅れが生じたことで新商品の投入も進まず、売上は減少いたしました。量販店向けにつきましても行動制限が緩和されたことで衛生用品が減少、同じく上海ロックダウンの影響でコンテナ遅延により出荷が滞り、売上は減少いたしました。

利益面につきましては、原油価格の高騰による原材料価格の上昇、為替の急激な変動が大きな要因となり、またタイ子会社においては原料価格の上昇等による利益率の悪化や輸出諸掛が増加したことで、セグメント利益額は大幅な減額となりました。

その結果、売上高は2,373百万円(前年同期比7.4%減)、セグメント損失は100百万円(前年同期は112百万円のセグメント利益)となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は6百万円(前年同額)、セグメント利益は3百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は12,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ181百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金等が減少したものの、現金及び預金や電子記録債権等が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は8,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ355百万円増加しました。これは主に短期借入金等が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は4,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円減少しました。これは主に利益剰余金等が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	878,987	1,008,650
受取手形及び売掛金	2,918,178	2,847,448
電子記録債権	609,776	763,375
商品及び製品	2,212,959	2,152,317
仕掛品	186,453	184,255
原材料及び貯蔵品	492,987	566,951
その他	261,387	323,336
貸倒引当金	△1,081	△1,071
流動資産合計	7,559,650	7,845,263
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,414,975	1,414,975
その他（純額）	952,814	962,369
有形固定資産合計	2,367,789	2,377,344
無形固定資産		
のれん	561,264	546,494
顧客関連資産	1,375,625	1,353,437
その他	104,410	94,396
無形固定資産合計	2,041,300	1,994,328
投資その他の資産		
その他	853,499	786,981
貸倒引当金	△29,044	△29,044
投資その他の資産合計	824,455	757,937
固定資産合計	5,233,545	5,129,610
資産合計	12,793,196	12,974,873
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413,293	1,457,498
短期借入金	4,760,000	5,210,000
1年内返済予定の長期借入金	138,328	127,978
未払法人税等	44,084	24,461
未払消費税等	64,195	46,450
賞与引当金	117,365	80,226
その他	479,153	509,736
流動負債合計	7,016,421	7,456,350
固定負債		
長期借入金	355,374	327,642
退職給付に係る負債	75,114	70,138
長期末払金	144,212	137,022
その他	677,390	632,809
固定負債合計	1,252,090	1,167,611
負債合計	8,268,512	8,623,962

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,843,345	2,695,463
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	4,309,795	4,161,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,799	99,633
為替換算調整勘定	90,089	89,364
その他の包括利益累計額合計	214,888	188,997
純資産合計	4,524,683	4,350,910
負債純資産合計	12,793,196	12,974,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,623,966	4,895,384
売上原価	3,583,329	4,003,352
売上総利益	1,040,637	892,032
販売費及び一般管理費	910,041	940,480
営業利益又は営業損失(△)	130,596	△48,447
営業外収益		
受取利息	23	—
受取配当金	4,165	4,634
為替差益	10,020	2,961
資材売却収入	991	1,152
その他	650	2,302
営業外収益合計	15,851	11,051
営業外費用		
支払利息	4,941	8,223
デリバティブ評価損	8,471	—
調査関連費用	86,476	—
その他	1,154	1,874
営業外費用合計	101,044	10,098
経常利益又は経常損失(△)	45,402	△47,495
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,739
特別利益合計	—	3,739
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,402	△43,755
法人税、住民税及び事業税	8,096	12,725
法人税等調整額	12,655	△63,143
法人税等合計	20,752	△50,418
四半期純利益	24,650	6,663
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,650	6,663

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	24,650	6,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,736	△25,165
繰延ヘッジ損益	△28,561	—
為替換算調整勘定	15,315	△724
その他の包括利益合計	△9,509	△25,890
四半期包括利益	15,140	△19,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,140	△19,227

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。